



# 学校だより



青梅市立東小中学校

令和7年度 第6号

令和7年10月1日

## 自分に正直に生きる ~相談することのススメ~

小学校副校長

秋の虫の声が聞こえる季節になり、今年度も残り半年ほどとなりました。学習や運動に集中できる時期です。今の学年をどのように終えるかは、これから自分の言動によって大きく変わると思います。なりたい自分、なれる自分… 目指す自分像を具体的に言葉にして、周りの大人に伝えてください。そのためにも、精一杯努力することをしていきましょう。

皆さんは今、人生をつくりはじめているときです。人はだれしも、失敗をしたり、間違ったりすることがあります。「あんなことしなければよかった」と思える自分がいるなら、まずは、その失敗や間違いを受け入れましょう。そして、自分に正直でいてください。本当のことが言える人は、尊敬され、信頼されます。よくないことをしたときも、正直に認めれば、その正直さが尊重されます。周りにいる大人を頼って、人生の土台となる「正直でいる自分」を作っていくってほしいなと思います。先生たちは最後まで皆さんを応援していきます。

東小・中学校では「大人に相談する」ことを大切にしています。相談ができているということは、不安や悩みに真剣に向き合っている証だと思います。不安や悩みをすぐに解消することは難しいですが、先生たちは一緒に考えていきます。自分に正直でいるためにも、たくさん相談をしましょう。

### 真剣に取り組んだ 防災訓練

9月6日（土）学園内において防災訓練が行われました。寮の先生が一人体制という設定での訓練でした。全員の避難完了の確認に時間がかかりましたが、避難中、待機中のおしゃべりがなく、真剣に取り組んでいる姿がありました。煙体験では、真っ白で周りが見えない状況の中を通り抜けました。最後は非常時における防災用備蓄食品での昼食でした。自分で準備をしなくてはいけないところもありましたが、調理員が準備をしてくださっていたこともあり、体育館で寮のみんなと食事ができました。そんな姿を見て、「東小・中学校のみんななら、何でもできる！」と感じたものです。災害はいつ起こるか分かりません。この防災訓練や月々の避難訓練から、災害時、誰一人とりこぼさない誠明学園、東小・中学校にしていきましょう。

### 白熱した 百人一首大会

9月27日（土）学園の恒例行事である百人一首大会が行われました。全員が競技に集中して取り組んでいた姿に、まず感動したものです。児童・生徒一人一人が、この日までチームの優勝を目指し、寮の先生方の指導のもと、必死になって暗唱にがんばっている姿は熱量を感じるものがありました。読み手の声に精神を集中し、真剣な表情で札を見つめました。この大会に本気で取り組んできた努力の姿勢が現れています。一瞬しーんと静まる体育館に“お願いします！” “ありがとうございました！” というみんなの声が響くと、心地よさを感じるものでした。日本の伝統の一つである百人一首が、学園の大会をとおして子供たちに受け継がれることはとても素晴らしいことです。子供たちのがんばりに拍手を贈るとともに運営にご尽力された学園の先生方に感謝いたします。

### 小学校

### 水道キャラバン～水道水が蛇口に届くまで～

### 人権教室～「きまりのないくに」～

9月16日（火）、東京都水道局主催の出前授業「水道キャラバン」の授業を受けました。水道水ができるまでについて、写真やイラストを用いて分かりやすく教えていただきました。何よりも、安心安全に各家庭に水を届けるために、各工程のところで、多くの人の支えがあって供給されていることを学びました。水道水源林やダムを管理することの大切さ、その水道水源林はふかふかな土や砂利が組み合わさってできていることを、実際に触ることで知りました。また、きれいな水を作る浄水場の役割や沈殿池の仕組み、よりおいしい水を作る工夫について、実験をとおして水をきれいにする仕組みを理解しました。供給するための水道管は、自然災害に備えたつくりになっていることも、映像をとおして学びました。本学習から、支えてくれている方々への感謝の気持ちをもつとともに、地球上では、0.001%しか使用できる水がないことに驚きと、より大切にしようという思いを強くもちました。

9月22日（月）は法務局主催の出前授業「人権教室」の授業を受けました。「きまりのないくに」DVDを通して、なぜきまりが必要なのか、なぜ大切なのか、について学びました。“きまり” “きそく” “ルール”を守ることは安心・安全な環境を確保するためにあるということ。つまり、自分を守ること、お互いの信頼につながると学びました。

決まりを守ろう！という強い気持ちをもって、生活や学習に取り組んでいる皆さんを、先生たちは応援していきます。

## 学びと心 ＝ 「手話体験」「ガイドヘルプ体験」

9月19日(金)、第2回学びと心の体験活動を行いました。手話体験ではグループになり、自分の名前、数字、スポーツなど身近なことばを手話で表現しました。ガイドヘルプ体験では二人一組のペアを組み、白杖体験と車いす体験を行いました。どちらの体験も驚きや発見、達成できた喜び等があり、生徒にとって貴重な時間となりました。社会では様々な人と関わり、他者を思いやる心をもち接することが大切です。体験したことをこれから的生活でも生かしてほしいと願っています。

・今回、ガイドヘルプ・車いす体験を通して思ったことは、「今までガイドヘルプということをしたこともないし、車いすも一回も乗ったことがないから大変だったな。」「ガイドヘルプの案内が難しくて、けがをさせてしまわないか心配だった。」などと、初めてのことばかりでした。この体験を今度そういう人に会ったら、この体験を使っていろんな人を助けたいです。

・耳が聞こえない人の大変さを学びました。今日、体験するまでは見て見ぬふりをして知らないふうにしてきました。だけど、体験して大変で、なかなか覚えられず難しかったです。そして、今日講演してくださった人たちの話を聞いていて、僕たちに覚えてもらえるように説明を一生懸命教えてくれたことを嬉しく思います。そして、今後の生活や、もし耳が聞こえない人と会ったときには、教えてもらったことをいかしていきたいです。

## 中学校クラブ活動 剣道部 市民剣道大会

9月21日(日) 青梅市民剣道大会に参加しました。小学生から大人まで参加する本大会。参加生徒は男子2名、女子5名、見学1名。緊張感を漂わせながらも"楽しむ"ことを一番に、やり切った1日となりました。また教員も個人戦に出場し、子供たちと一緒に奮闘しました。

青梅市は全体的に剣道のレベルが高く、一勝することすら難しいのが実情です。それでも、これまでの練習で培ってきた経験を活かし、自分から相手のもとへ飛び込む姿や練習以上の声を出して立ち向かう姿は大変立派なものでした。勝利には結びつかなかったものの、試合を終えた表情からは、全力で取り組むことの楽しさを感じていたように思います。

朝食・昼食や予定の調整、応援に来てくれた先生方、多くの人の支えがあり参加できた本大会となりました。今後とも剣道部の生徒たちのがんばりを温かい目で見守っていただければと思います。ありがとうございました。

## 中学校クラブ活動 サッカー部

現在部員は15人です。挨拶係、体操係などの役割は中学3年生が輪番で担当しています。サッカーを上手くなるために日々頑張っています。

そんなサッカー部で大切にしていることは大きく2つあります。

### 「前向きな声かけをしよう！」

→「ナイスシュート！」「ドンマイ！」「キーパーありがとうございます。」など前向きな声かけてクラブ全体の雰囲気を良くしていきましょう。

### 「失敗を恐れずチャレンジしよう！」

→チャレンジしないことには何の成長もありません。たくさんチャレンジし、失敗し、考えて技術を高めていきましょう。

接触がある競技だからこそ、相手への思いやりや気遣いが必要です。時には足が当たってしまうこともあります、故意でないことには引くことができている人が多いです。また今年も寮の先生方と全面で試合することができればいいなと思います。ぜひ練習に顔を出してください。